

## 男女共同参画社会の実現に向けて 向日市男女共同参画審議会の委員を募集

市では、男女が互いにその人権を尊重しつづき責任も分かち合い、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現をめざし、向日市男女共同参画推進条例を制定しました。

この条例に基づき、さまざまな施策を市民の皆様との協働のもとに、総合的かつ計画的に推進していくため、「向日市男女共同参画審議会」の委員を募集します。

**募集期間 7月3日(月)～31日(月)**

●申込み・お問い合わせ 政策協働課(内線280)

- 募集人員/1人
- 対象/○向日市に在住または在勤の満20歳以上の方
- 男女共同参画の推進についての市の施策に理解・関心を持ち、会議に出席して積極的な発言をしていただける方
- 本市のほかの審議会などの委員でない方
- 公務員でない方、または市議会議員でない方
- 平日に開催する会議(年4回程度)に出席いただける方
- 任期/委嘱の日(平成18年9月)から2年間
- 委員の仕事/男女共同参画の推進についての重要事項の審議など(平成18年度は男女共同参画プランの検討)
- 募集方法/申込書にテーマ「私が考える男女共同参画」についての小論文(800字程度)を添えてお申込みください。
- 提出方法/直接お持ちいただくか郵送
- 選考/書類選考
- ※報酬あり



## まちの話題

### 府民運動推進者表彰

### 向日市老人クラブ連合会が受賞



▲市役所に報告に来られた向日市老人クラブの皆様

向日市老人クラブ連合会(井上國治会長)が5月23日、府民運動を一層推進するため、積極的に活動に取り組んだとして、新しい歴史に向かって走ろう府民運動推進協議会(会長・山田啓二府知事)から府民運動推進者表彰を受けました。

同連合会は、平成16年から「向日市ほのぼのスクール」でボランティア指導者として、昔遊びやスポーツなどの指導を行い、子どもたちと交流を続けてきたことが評価されたものです。

### 向日市消防団の消防操法選抜選手

### 府消防操法大会に向け連日訓練に励む

8月6日に丹波自然運動公園で開催される第19回京都府消防操法大会に向けて、向日市消防団が連日訓練に励んでいます。

出場選手は、各分団から選出された代表で編成されています。

**出場選手(写真左から)** / 指揮者:北脇貴裕副分団長(第6分団)、1番員:畑 正実団員(第2分団)、2番員:中山富士夫団員(第1分団)、3番員:井上大輔班長(第5分団)、4番員:中埜博之団員(第3分団)、補助員:山中俊哉団員(第4分団)



### 中学校吹奏楽部合同演奏会



7月23日(日)

午後2時開演

(1時30分開場)

市民会館ホール

【出演】勝山中学校、西ノ岡中学校、寺戸中学校

【特別出演】向陽高等学校、京都西山高等学校

☎教育委員会学校教育課学校教育係(内線332)

## 市長雑感

### ターミナル

JR向日町駅が今年7月で開設から130年を迎えます。

向日町と大坂(現大阪)間に鉄道が開通し、京都府下最初の駅として明治9年にできたそうです。京都駅よりもわずかですが古い駅です。

明治21年の一日平均乗客数は約80人。それが今や約1万1千人です。大きな時代の流れを感じ、まちの発展は感慨深いものです。

## 麻しん・風しんの予防接種が変わりました

予防接種法の一部が6月2日に改正され、麻しん風しん混合ワクチンだけでなく、麻しん単独ワクチン、風しん単独ワクチンの接種が可能になりました。

※接種時期と回数については、変更ありません。

1期	1歳から2歳未満まで	1回
2期	小学校入学前1年間(年長児)	1回



改正後(平成18年6月2日以降)	改正前(平成18年4月)
<ul style="list-style-type: none"> <li>●麻しんにかかった方は風しんの単独ワクチン、風しんにかかった方は麻しんの単独ワクチンの接種が可能となります。</li> <li>●1期・2期対象の方で、麻しんの接種漏れの方、風しんの接種漏れの方も、それぞれ単独ワクチンの接種が可能となります。</li> <li>●2期は、今までに麻しん風しんの単独ワクチンを接種した方も、混合ワクチンの接種が可能となります(7月頃個別に通知します)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●麻しん・風しんにかかった方は予防接種を受けることができませんでした。</li> <li>●麻しん風しん混合ワクチンの接種のみ可能。単独ワクチンの接種は受けられませんでした。</li> <li>●2期は、今までに麻しん風しん混合ワクチンを接種した方が対象。</li> </ul>

●お問い合わせ 子育て支援課母子保健係(内線333、338)

## タウンミーティング

### 情報

「共有」「共鳴」そして「共生」のまちづくり



■日時/5月27日(土)午後7時～8時30分

■場所/物集女コミュニティーセンター大会議室

■参加者/美化ネットひまわり14人、市長、建設部長、政策企画室長ほか

■テーマ/ボランティア活動について

初めに、美化ネットひまわり代表(佐野國男さん)から「私たちにとって、市道も府道も同じ道路です。ごみのポイ捨てや雑草で汚れている状況を自分たちの手でなんとかしよう」と考え、京都府の道路アダプト制度「さわやかボランティア・ロード事業」を利用してボランティアを始めた経緯や、日頃の活動などを紹介されました。

続いて、久嶋市長が「日頃の皆さんの活動に敬意と

感謝を申し上げます。市道、府道の区別なく道路をきれいにしたいという美化ネットひまわりの皆さんの思いは、素晴らしいことだと思います。皆様の活動に対しまして本市の対応が消極的に写ったことは残念であり、今後改めていきたいと思えます。私も、市民の皆様と協働のまちづくりを推進いたしたく、多くの事業に取り組んでいくところであります」と答えました。

その後、意見交換となり、「今回のタウンミーティングの理由は」という質問に、「皆さんの活動は、京都府の事業制度を活用されていますが、本市も皆様が集められたゴミの回収などお手伝いはさせていただいています。本日は、これまでの活動の中で皆さんが考えられたことをお聞きし、本市の今後のボランティア活動についていろいろと参考にさせていただきたい」。

また、「府道沿いの事業者の看板をそれぞれの敷地に移動するよう指導してもらえないか」との要望には、「看板の移動については、府と協議して対応します」と答えました。

そのほか、「活動を始めた頃に比べてポイ捨てが減っており、活動に対して手応えを感じている。これからも活動を続けていきたい。こういう活動が市全体に広まっていくことを期待しますが、市も私たちと一緒に考えることが必要」などの意見がありました。

タウンミーティングの情報は、市役所の情報公開コーナー、またはホームページ「e-市長室」をご覧ください。

●お問い合わせ 政策協働課(内線280)